



TITLE:

和歌山県白浜町の海岸で発見されたヨイミヤミノヒラムシ(扁形動物門, 渦虫綱, 多岐腸目, ニセツノヒラムシ科)

AUTHOR(S):

新稻, 一仁; 久保田, 信

---

CITATION:

新稻, 一仁 ...[et al]. 和歌山県白浜町の海岸で発見されたヨイミヤミノヒラムシ(扁形動物門, 渦虫綱, 多岐腸目, ニセツノヒラムシ科). Kuroshio Biosphere 2017, 13: 23-25

ISSUE DATE:

2017-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/226442>

RIGHT:

発行元の許可を得て登録しています.

和歌山県白浜町の海岸で発見されたヨイミヤミノヒラムシ  
(扁形動物門, 渦虫綱, 多岐腸目, ニセツノヒラムシ科)

***Thysanozoon* sp. (PLATYHELMINTHES, TURBELLARIA, POLYCLADIDA,  
PSEUDOCEROTIDAE) COLLECTED FROM A SEACOAST OF SHIRAHAMA,  
WAKAYAMA PREFECTURE, JAPAN**

By

新稲一仁<sup>1</sup>・久保田 信<sup>2</sup>  
Kazuhito NIINA<sup>1</sup> and Shin KUBOTA<sup>2</sup>

概要

Abstract

One specimen of *Thysanozoon* sp. (Platyhelminthes, Turbellaria, Polycladida, Pseudocerotidae) was collected from a seacoast of Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan in August 2016. This specimen represents the first record from Wakayama, and also the northernmost record in Japan for this species.

はじめに

Introduction

扁形動物門渦虫綱多岐腸目ニセツノヒラムシ科に属するヨイミヤミノヒラムシ *Thysanozoon* sp. は、インドー西太平洋の熱帯・亜熱帯海域に産する (奥野 2015; 小野 2015)。2016 年 8 月に和歌山県で初記録となる個体を西牟婁郡白浜町の海岸で採集したので今回報告する。

結果と考察

Results and discussion

ヨイミヤミノヒラムシ *Thysanozoon* sp. の 1 個体を 2016 年 8 月に和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する鴨居漁区海岸の磯でシュノーケリングにより水深 2m 地点から新稲が

- 
1. 〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野 1622-2222  
1622-2222 Saino, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2334, Japan  
e-mail: urochordata@kvd.biglobe.ne.jp
  2. 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所  
Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University,  
459 Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan

採集した。本個体の体長は約 35 mm で、光の良く当たる転石の表面を匍匐していた（図 1）。奥野（2015）や小野（2015）が記載しているように、本個体は本種に特徴的な色彩を有し、黒色を呈した背面のほぼ全面に、先端部が黄色の小突起が多数存在し、体の周縁部は白色であった。また、前端には耳状の触葉があった。採集後、本個体を 1000 cc の容器内で止水飼育したが、一日で死亡した。

本種は主に奄美大島以南の琉球列島で報告されており（例えば益田ら 1986）、本州や四国、九州沿岸からの記録はない。ただし、日本の北限記録として、伊豆諸島八丈島からの報告がある（奥野 2015）。今回の本個体の発見場所である白浜町は八丈島よりわずかに北に位置するので、日本最北限記録となる。

小野（2015）は遊泳可能な慶良間諸島産の本種を *Thysanozoon* cf. *nigropapillosum* (Hyman, 1959) として取り扱っている。Gosliner *et al.* (1996) も同様にインド太平洋産の標本を *T. nigropapillosum* (Hyman, 1959) とみなしている。しかし、Chou & Alino (1992) や Matchacheep (2004) は南シナ海産およびタイ産の標本を *T. flavomaculatum* としている。なお、本種に和名を与えた奥野（2015）は *T. auropunctatum* Kelaart in Collingwood, 1876 である可能性も挙げている。本報告では本個体を *Thysanozoon* sp. として扱い、種小名の決定は将来にゆずることとする。また、小野（2015）は本種と大変類似したアカントゾーン属の複数種 *Acanthozoon* spp. を記載しているが、背面の小突起や体の色彩により区別できる。さらに、小野篤司氏によると「本種に一番酷似している種が *Pseudoceros* sp. (小野 2015) であるが背面に突起はない。しかし、肉眼での観察ではいずれも同じ様に見える。かえって同属他種よりも似ているので、報告が無いものと考えられる」とのご教示を頂いたので記しておく。

## 謝辞

## Acknowledgments

原稿を読み、生物地理学的情報を下さった奥野淳児氏、小野篤司氏、並びにタイ語で書かれた図鑑の出典をご教示下さったブラパ大学 Sumaitt Putchakarn 氏に深謝致します。

## 引用文献

## References

- Gosliner, T., D.W. Behrens and G.C. Williams. 1996. Coral Reef Animals of the Indo-Pacific: animal life from Africa to Hawaii exclusive of the vertebrates. 288pp. Sea Challengers, USA.
- Matchacheep, S. 2004. Marine animals of Thailand. 310pp. Praepittaya Publishing House, Bangkok. (タイ語)
- Chou, L.M. and P.M. Alino. 1992. An underwater guide to the South China Sea. 144pp. Times Editions, Singapore.

- 奥野淳兒. 2015. 海の生き物観察ノート 12 ヒラムシの博物誌. 21pp. 千葉県立中央博物館分館 海の博物館, 千葉.
- 益田一・林公義・中村宏治・小林安雅. 1986. フィールド図鑑 海岸動物. 256pp. 東海大学出版会, 東京.
- 小野篤司. 2015. ネイチャーウォッチングガイドブック ヒラムシ 水中に舞う海の花びら. 224pp. 誠文堂新光社, 東京.



図 1. 和歌山県白浜町産のヨイミヤミノヒラムシ  
Figure 1. *Thysanozoon* sp. collected from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan.